

令和8年度から、専攻の区分「理学療法学」の修得単位の審査の基準を改正します。改正後の審査基準による学位授与申請の受付は、令和8年度4月期からとなりますので注意してください。

専攻の区分

専攻分野の名称

35 理学療法学

保健衛生学

理学療法とは、発達障害や疾病・外傷、また加齢などによって機能が低下している人や身体に障害のある人に対して、基本的な動作能力の維持・改善を目的として運動療法、物理療法、日常生活動作訓練などを行う身体治療の手法であり、そして理学療法学とは、理学療法を理解し実施する上で必要な各種の検査や測定による評価で問題点を明らかにするとともに治療技法を学び、理学療法に資するための学問である。

● 修得すべき専門科目と関連科目の単位 (62 単位以上)

専攻に係る授業科目の区分	専門科目 (40 単位以上)	
	<p>【A群 (理学療法学に関する科目)】 (36 単位以上)</p> <p>○基礎・研究理学療法学に関する科目</p> <p>○心身機能診断学に関する科目</p> <p>○臨床理学療法学に関する科目</p> <p>○物理療法学に関する科目</p> <p>○日常生活活動学に関する科目</p> <p>○理学療法学に関する臨床実習科目</p> <p>【B群】</p> <p>○作業療法学に関する科目 (整理番号 36 の「作業療法学」のA群に区分される科目)</p> <p>【C群】</p> <p>○基礎・臨床医学に関する科目</p> <p>○社会福祉・リハビリテーション論に関する科目</p> <p>○健康科学に関する科目</p>	左のA群の区分のうち「基礎・研究理学療法学に関する科目」及び「理学療法学に関する臨床実習科目」の区分を含み5区分以上にわたること
	関連科目 (4 単位以上)	
	<p>◇専攻分野「保健衛生学」の他の専攻の区分の専門科目A群に区分される科目</p> <p>◇人間発達・心理学に関する科目</p> <p>◇統計学・情報科学に関する科目</p>	

■ 専門科目の例 ■

【A群 (理学療法学に関する科目)】

○基礎・研究理学療法学に関する科目

理学療法概論、医療倫理学、生命と倫理、神経生理学、運動生理学、筋生理学、筋生物学、物理学、理学療法学研究方法論・研究課題、理学療法管理学、多職種連携論など

○心身機能診断学に関する科目

機能診断学、生体情報分析学、理学療法評価学、運動機能評価学、身体機能評価学、検査学、計測学など

○臨床理学療法学に関する科目

骨・関節疾患理学療法学、神経・筋疾患理学療法学、神経機能療法学、循環疾患理学療法学、内臓疾患理学療法学、中枢神経疾患理学療法学、代謝疾患理学療法学、スポーツ理学療法学、スポーツ傷害治療学、臨床運動学、病態運動療法学、精神疾患理学療法学、チーム医療論など

○物理療法学に関する科目

物理療法学、力学、電気工学、電気生理学、電磁気学、熱力学など

○日常生活活動学に関する科目

日常生活活動学、動作能力分析学、環境制御学、生活環境制御学、生活環境論、地域理学療法学、自助具、補装具学、福祉機器、QOL論など

○理学療法学に関する臨床実習科目

臨床見学、初期体験実習、早期臨床体験実習、臨床評価実習、総合臨床実習、症例検討など

【B群】

○作業療法学に関する科目

整理番号 36 の「作業療法学」の専門科目の例のA群に区分される科目

【C群】

○基礎・臨床医学に関する科目

医学概論、生理学、生化学、免疫学、解剖学、人体構造学、機能解剖学、組織学、神経解剖生理学、病理学、微生物学、薬理学、運動学、一般臨床医学、外科学、整形外科学、運動器障害学、脳外科学、脳神経外科学、画像解析学、画像診断学、内科学、内部障害学、内部障害病態学、神経内科学、臨床神経学、神経機能障害学、神経機能病態学、小児科学、小児発達障害学、小児疾病論、精神科学、精神医学、精神保健学、社会精神医学、心身医学、泌尿器科学、眼科学、耳鼻咽喉科学、感覚器障害学、感覚障害論、皮膚科学、循環器科学、臓器移植機能回復学、公衆衛生科学、社会医学、リハビリテーション医科学、精神心理リハビリテーション論、スポーツ障害学、スポーツ生理学、言語治療学、言語病理学、神経心理学、老年医学、老年期障害学、老年期神経機能障害論、老年期心身機能障害学、老年期特性論、救急医学、医療安全管理学、予後管理医学、医用工学、リハビリテーション工学、生体力学、生体応用工学、感染制御学、行動科学など

○社会福祉・リハビリテーション論に関する科目

社会福祉論、公的扶助論、保健行政論、衛生法規、福祉法規、高齢者福祉、老人福祉、児童福祉、障害者福祉、保健福祉論、文化と環境、家族関係学、リハビリテーション概論、地域リハビリテーション学、在宅ケア論、地域福祉論、ソーシャルワーク論、ケースマネジメント論、医療とボランティア活動、就労支援論、自立支援（論）など

○健康科学に関する科目

健康科学、健康管理学、生命科学、体力科学、栄養学、レクリエーションと余暇、環境科学など